



平成29年度金沢市議会3月定例会議会 新たに受理した請願（2件）

番 号	受 理 年月日	件 名	紹介議員	請願人	付 託 委員会
請 願 第27号	30.2.27	核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての請願	森尾 嘉昭	新日本婦人の会 中内 晃子	総 務
請 願 第28号	30.3.1	家庭ごみ有料化の中止と見直しを求める請願	森 一敏 熊野 盛夫 森尾 嘉昭	ストップごみ有料化！ 市民の声 山中 尚史	経 済 環 境

金沢市議会議長
黒沢和規様

2018年 2月 27日

核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての請願

紹介議員 黒沢嘉昭 
請願者 新日本婦人の会
中内晃子 
住所 金沢市東山 2-25-18

【請願の趣旨】

国際法史上初めて核兵器を違法なものとした核兵器禁止条約が、2017年7月7日の国連会議で国連加盟国の約3分の2にあたる122カ国の賛成で採択されました。

核兵器禁止条約は第1条において、核兵器の「開発、実験、生産、製造」及び「保有、貯蔵」、さらにその「使用」と「使用の威嚇」を禁止し、条約締約国に対し「自国の領域または自国の管轄もしくは管理の下にあるいかなる場所においても、核兵器または核爆発装置を配置し、設置し、または配備すること」を禁止しています。9月20日にはニューヨークの国連本部で署名式典が開かれ、賛同する国々による署名と批准の手続きが始まりました。

この歴史的な核兵器禁止条約採択への貢献が評価され、12月10日には2017年のノーベル平和賞が国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)に授与されました。

平和首長会議は2017年8月の第9回総会で、「人類の悲願である核兵器廃絶への大きな一歩となる『核兵器禁止条約』の採択を心から歓迎する」「核兵器保有国を含む全ての国に対し、条約への加盟を要請し、条約の1日も早い発効を求める」とする「核兵器禁止条約の早期発効を求める特別決議」を可決しました。

核兵器のない世界を望む国内外の広範な世論に応えて、唯一の戦争被爆国である日本は率先して取り組むべきです。

1. 日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に調印することを求める意見書を提出されるよう請願します。



2018年3月1日

金沢市議会議長 黒沢 和規 様

家庭ごみ有料化の中止と見直しを求める請願

(紹介議員)

森 一雄 (森)
熊野 盛夫 (熊野)
森 嘉昭 (森)

(請願趣旨)

2月1日から家庭ごみが有料化されましたが、市民の反対の声は根深く、中止を求める声は少なくありません。

市民の不満は、指定ごみ袋の経済的な負担感だけではありません。違反ごみの監視や対応などで、町会の負担はいっそう増加しています。

有料化は、市民にとっては負担が増大するだけです。スーパーなどでの古紙の回収の拡大など、これまで行ってきた施策で減量・再資源化は進んできています。さらに市が紙類の資源回収も責任をもって行ったり、分別の徹底の啓発活動を推進するなど、有料化の前にすべきことはさまざまあります。

一方で、本来は福祉の課題として優先的に進めていくべきであるごみ出し困難者への対応は、次年度によりやく本格実施の計画です。市民生活を第一に考えているとは言えない状況です。

2月からの有料化は、有料化によらない減量・再資源化の努力が尽くされたとは言えないままのスタートです。かねてから懸念されていた違反ごみの問題などへの苦情や不満も、数多く出されています。有料化の中止を求めて私たちが行った署名も、短期間の間に8336筆が集約されています。

このまま有料化を続けていくのではなく、一度立ち止まって再考し、減量・再資源化を進めていくために必要な課題を見直すことが求められています。

以上のことから、以下の点を請願します。

(請願項目)

金沢市の家庭ごみ有料化を中止し、減量・再資源化のための方策を再検討すること。

ストップごみ有料化！市民の声

山中 尚史

金沢市京町28-8 石川民医連労働組合内

TEL 076-251-0014 FAX 076-251-3930

収金議議調

